

NHKスペシャル 世紀の発見！ 日本の巨大恐竜

放送日：2017年5月7日 放送時間：49分



対象校種 小学校6年 中学校 高校
対象教科 理科 社会 総合

この番組の良さ

● 世紀の大発見！

世界が注目！世界でも珍しい恐竜の全身骨格化石が、北海道むかわ町で発掘されました。日本の恐竜研究の上で最大の発見である、むかわ竜です。

日本では、これまで恐竜の全身化石はほとんど見つかっていませんでした。この発見は、7200万年前の恐竜時代の日本の環境を教えてくれる重要な手がかりになります。番組では、最新の映像技術で恐竜の生きていた時の姿を再現します。

● 再発見

むかわ竜の化石は、最初は地元の愛好家が一部位を発見したものでした。しかしそれは7年間放置され、ある日ひょんなことから再発見されました。そして14年をかけて全身骨格の発見に至ったのです。

大がかりな発掘とクリーニング作業、CGで復元したむかわ竜の姿、共に出土した木の化石から推測されたむかわ竜の最期など、番組はむかわ竜のすべてに迫ります。

番組活用のポイント

● 「続きはどこですか？」…執念と努力が実を結ぶ

尻尾だけで終わってもおかしくなかった今回の発見ですが、小林快次さんはこの尻尾に続く胴体があるはずだと言いました。この一言が世紀の大発見へとつながっていったのです。

尻尾の化石は、7200万年前には沖合10kmの海底だったところの地層から見つかりました。そこから小林さんは大胆な仮説を立てました。尻尾だけではすぐに沈んでしまいますが、全身だと沈まずに沖合まで流されていくと考えたのです。この大胆な仮説が、尻尾の続きを探す発掘へとつながっていきます。

この番組を視聴することで、物事はさまざまな視点から考えることが大切であり、それには多くの経験や知識が必要であることを教えられます。また、継続して努力することのすばらしさも学ぶことができます。この大発見により、子供たちの夢や希望もますます広がっていくことでしょう。

● 多くの仲間がいたから

堀田良幸さん、櫻井和彦さんは大発見の扉を開きましたが、化石はいったん倉庫へしまわれ、忘れ去られたかに見えました。しかし、佐藤たまきさんによって物語は再び動き出します。その発見を飛躍させた小林快次さん。そして研究は現在、西村智弘さんへと受け継がれています。もちろん、発掘に携わった多くの、協力者など、たくさんの仲間がいたからこそ奇跡の発見ができたのです。

番組視聴から、それぞれの興味と知識をつなげ、仲間の力が大きな原動力となり、探求が共に進んでいく面白さやすばらしさ、何より仲間の大切さを再認識させられることでしょう。一人では成し遂げられないことでも、それぞれの得意なことを生かし、多くの仲間と歩めば大きくジャンプできる…そんなことを考えさせられる番組です。



執筆者
海陽町立海部小学校
教諭 溝内正剛